



I 第18週の発生動向 (2025/4/28~2025/5/4)

- 水痘については、東津軽+青森市保健所管内で**警報**、上北保健所管内で**注意報**が継続しています。また、三戸+八戸市保健所管内の定点当たり報告数が新たに**注意報レベル**となりました。
- 伝染性紅斑については、中南保健所管内、三戸+八戸市保健所管内及び西北保健所管内で**警報**が継続しています。
- 百日咳については、下北保健所を除く5保健所管内で患者が報告されており、特に、三戸+八戸市保健所管内の報告数が多い状況が続いています。手洗い等の基本的な感染対策の徹底をお願いします。

※現在、国及び国立健康危機管理研究機構が警報・注意報の基準値について確認を進めているところですが、県の週報に記載する発生動向では、当面の間、従前の基準値を用いて注意喚起を行います。

II 第18週五類定点把握対象疾患

※記載データは、速報値です。

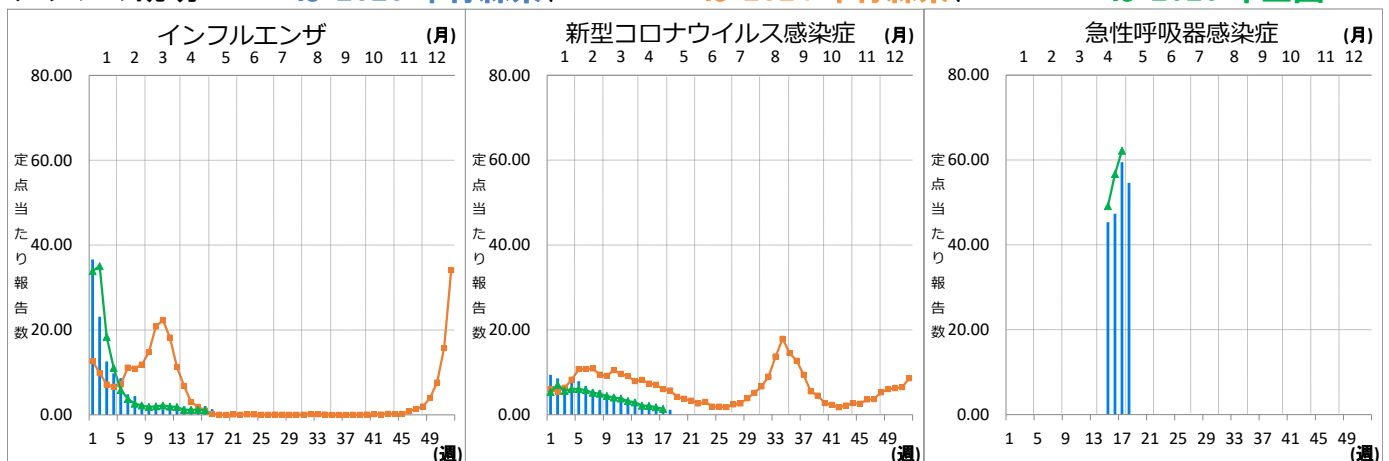
青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

は警報、は注意報。「空欄」：患者報告無し。

		東青 (東津軽+ 青森市保健所)		中南 (中南保健所)		三八 (三戸+ 八戸市保健所)		西北 (西北保健所)		上北 (上北保健所)		下北 (下北保健所)		青森県計		前週 からの 増減
		数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	
急性 呼吸器 感染症	インフルエンザ	8	0.73	6	0.60	15	1.50	8	1.33	30	3.33	2	0.33	69	1.33	-39
	新型コロナウイルス感染症	15	1.36	9	0.90	8	0.80	13	2.17	9	1.00	8	1.33	62	1.19	-17
	急性呼吸器感染症	924	84.00	328	32.80	584	58.40	279	46.50	461	51.22	263	43.83	2839	54.60	-254
小児科	RSウイルス感染症	3	0.50	1	0.17			3	0.60					7	0.21	-8
	咽頭結膜熱	4	0.67			7	1.00	11	2.20					22	0.65	5
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3	0.50	2	0.33	9	1.29	7	1.40	1	0.17	4	1.00	26	0.76	-9
	感染性胃腸炎	21	3.50	14	2.33	39	5.57	40	8.00	9	1.50	2	0.50	125	3.68	-25
	水痘	8	1.33			10	1.43			8	1.33	1	0.25	27	0.79	-43
	手足口病	1	0.17	3	0.50									4	0.12	-5
	伝染性紅斑	1	0.17	6	1.00	16	2.29	10	2.00	2	0.33	2	0.50	37	1.09	-11
	突発性発しん	4	0.67	1	0.17	2	0.29			2	0.33			9	0.26	-8
	ヘルパンギーナ															-2
	流行性耳下腺炎											3	0.75	3	0.09	1
眼科	急性出血性結膜炎															0
	流行性角結膜炎															0
基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)															0
	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎															0
	マイコプラズマ肺炎	1	1.00									6	6.00	7	1.17	4
	無菌性髄膜炎															0

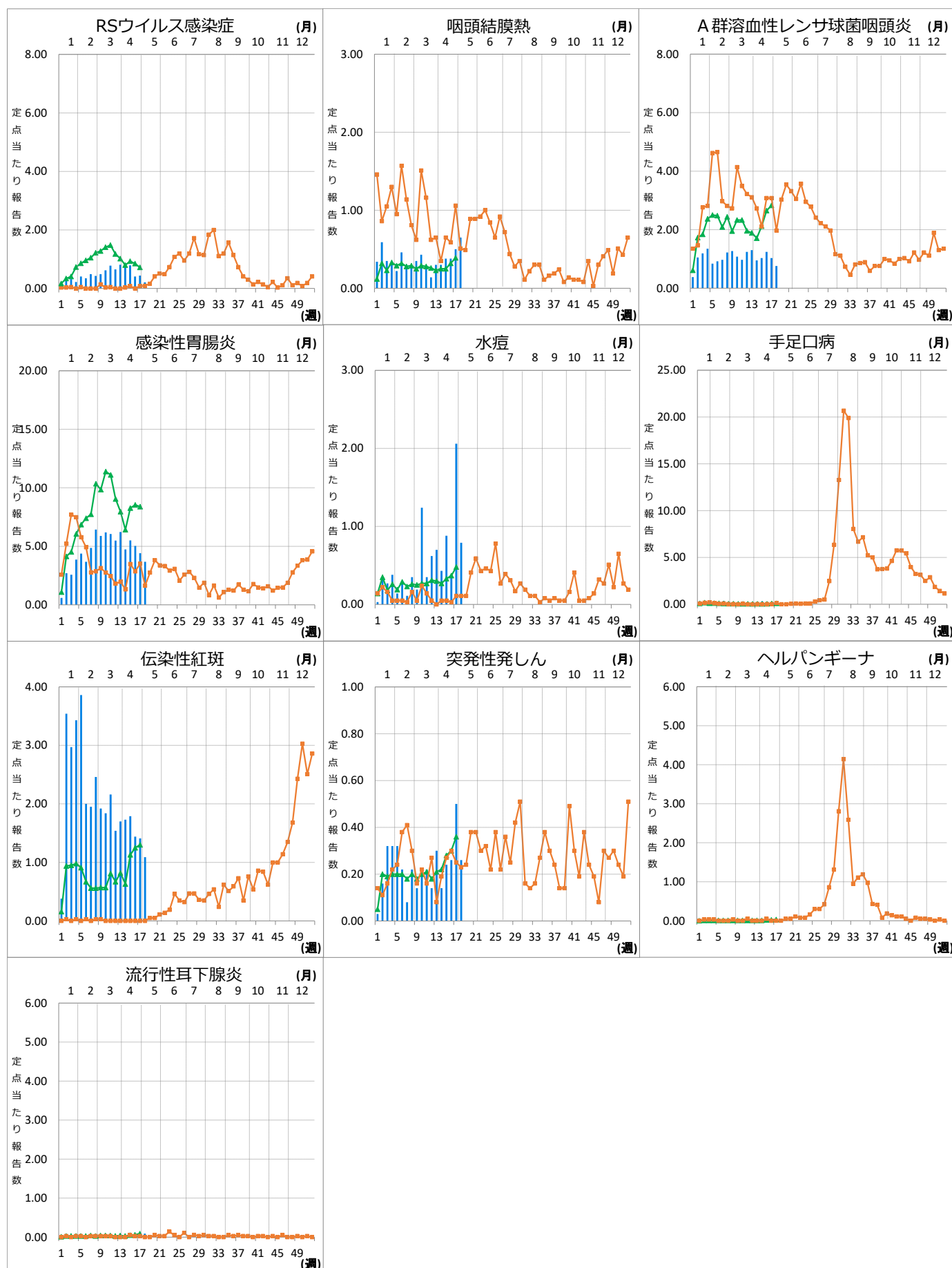
III 定点把握対象疾患週別推移 (急性呼吸器感染症定点) (2025年第18週、ただし全国は前週)

グラフの説明 〡は2025年青森県、■は2024年青森県、▲は2025年全国



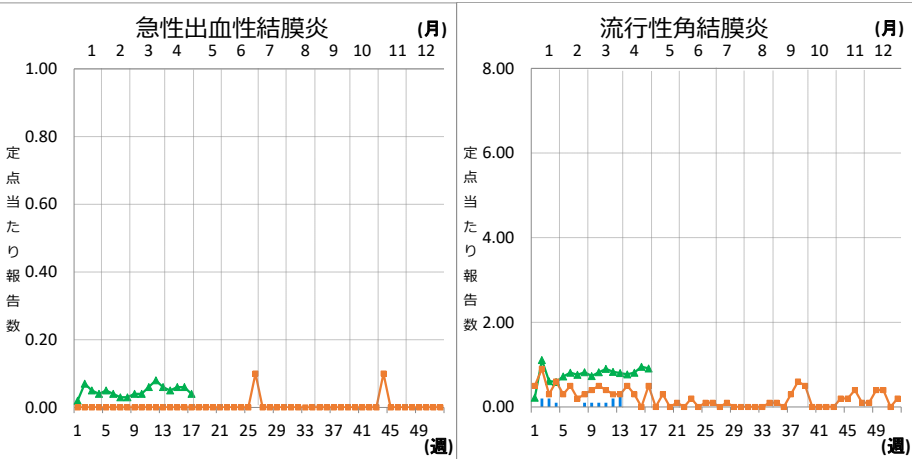
Ⅳ 定点把握対象疾患週別推移（小児科定点）（2025 年第 18 週、ただし全国は前週）

グラフの説明  は 2025 年青森県、 は 2024 年青森県、 は 2025 年全国



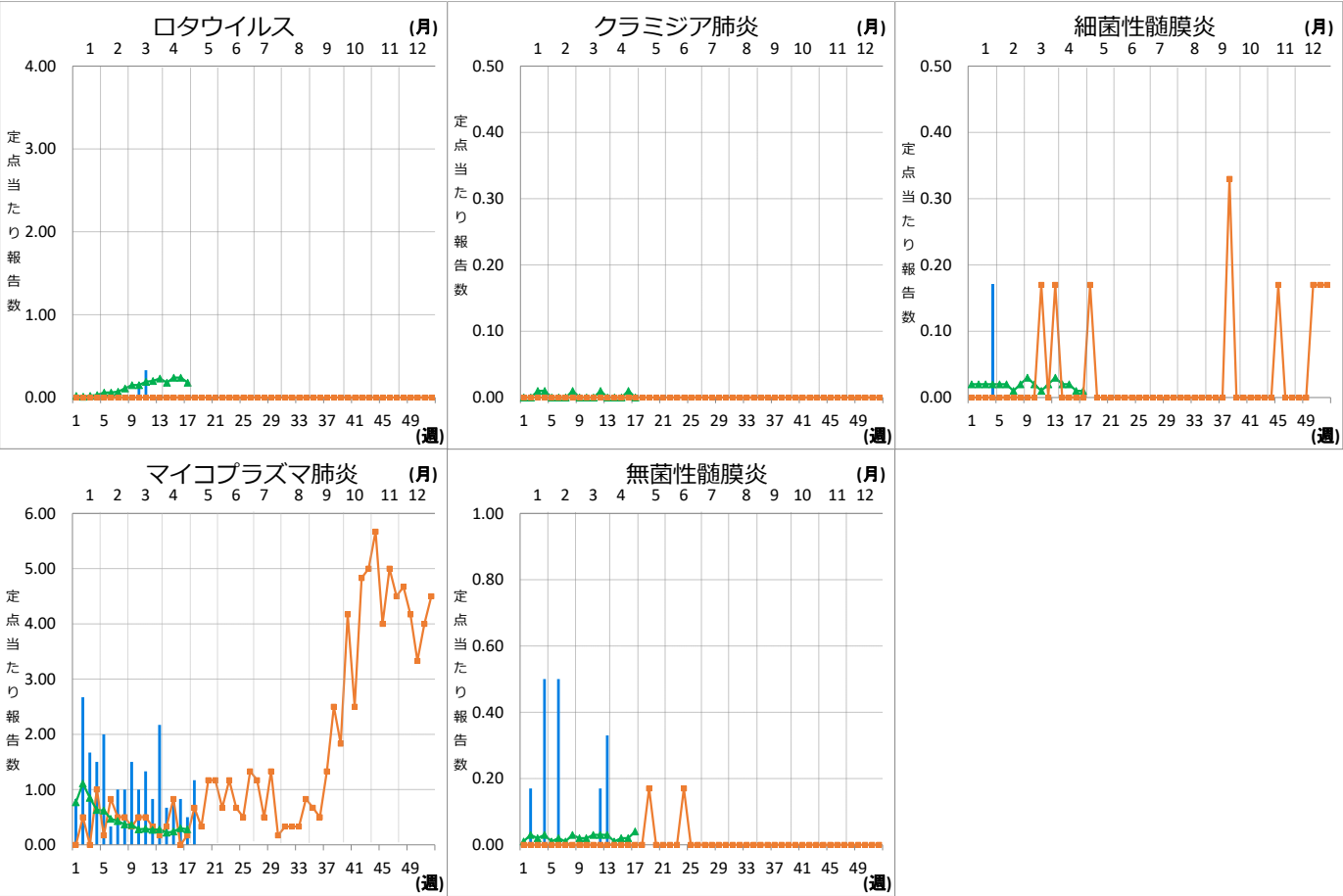
V 定点把握対象疾患週別推移（眼科定点）（2025 年第 18 週、ただし全国は前週）

グラフの説明👉——は 2025 年青森県、■——■は 2024 年青森県、▲——▲は 2025 年全国



VI 定点把握対象疾患週別推移（基幹定点）（2025 年第 18 週、ただし全国は前週）

グラフの説明👉——は 2025 年青森県、■——■は 2024 年青森県、▲——▲は 2025 年全国

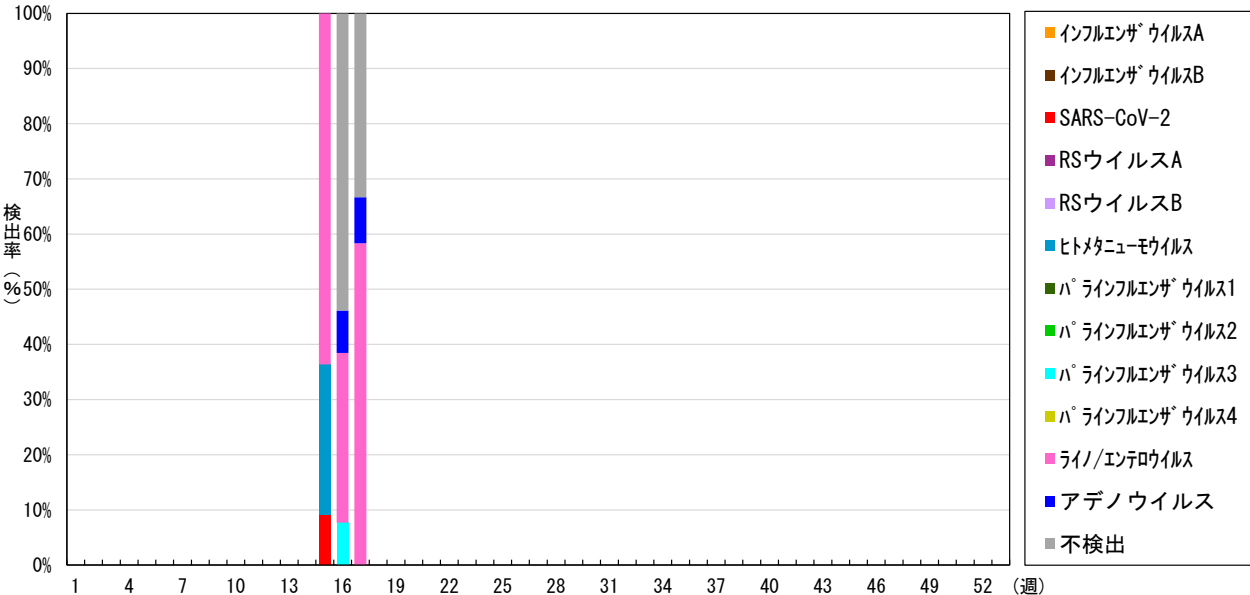


Ⅶ 急性呼吸器感染症 (ARI) 病原体検出情報

(1) 急性呼吸器感染症病原体定点からの提出検体数 (2025 年第 15～18 週)

急性呼吸器感染症	2025年							
	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週
提出検体数	11	12	12	8				

(2) 検出された病原体の週別推移 (2025 年第 15～17 週)



Ⅷ 全数把握対象疾患発生状況 (第 18 週)

- ・ レジオネラ症 (四類感染症) : 上北 1 人 (2025 年計: 4 人)
- ・ 侵襲性肺炎球菌感染症 (五類感染症) : 青森市 1 人、中南 1 人 (2025 年計: 10 人)
- ・ 百日咳 (五類感染症) : 青森市 2 人、中南 7 人、八戸市 20 人、西北 3 人、上北 3 人 (2025 年計: 254 人)

Ⅸ 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況 (2025 年第 15 週～2025 年第 18 週)

週	東青 (東津軽保健所+ 青森市保健所)	中南 (中南保健所)	三八 (三戸保健所+ 八戸市保健所)	西北 (西北保健所)	上北 (上北保健所)	下北 (下北保健所)
15	百日咳1人 梅毒1人	結核1人	百日咳20人	結核1人		百日咳1人
16	結核1人 百日咳2人 梅毒1人	結核1人 腸管出血性大腸菌 感染症1人 百日咳10人	百日咳20人 カルバペネム耐性 腸内細菌目細菌感 染症1人	百日咳1人	結核1人 百日咳1人	百日咳1人
17	結核2人 劇症型溶血性レン サ球菌感染症1人 百日咳2人	結核2人 百日咳10人 梅毒1人	侵襲性インフルエン ザ菌感染症1人 百日咳34人	百日咳1人	百日咳2人	百日咳1人
18	侵襲性肺炎球菌感 染症1人 百日咳2人	侵襲性肺炎球菌感 染症1人 百日咳7人	百日咳20人	百日咳3人	レジオネラ症1人 百日咳3人	

第 17 週に中南保健所管内で百日咳の届出が 4 件、梅毒の届出が 1 件ありましたので追加しました。

X 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2025 年第 1 週～第 17 週までの累計）										
分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокクス症	エムボックス
累積報告数	4160	3	16	419	7	2	178	47	9	1
分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	オウム病	回帰熱	コクシジオイデス症	重症熱性血小板減少症候群	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ポツリヌス症	マラリア
累積報告数	3	2	1	9	5	42	49	11	1	6
分類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	急性弛緩性麻痺	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症
累積報告数	525	1	149	68	542	9	218	7	53	543
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症
累積報告数	244	11	266	27	1583	178	4279	49	24	32
分類	五類	五類	五類	五類						
疾病名	百日咳	風しん	麻疹	薬剤耐性アシネトバクター感染症						
累積報告数	11921	5	96	4						

青森県（2025 年第 1 週～第 18 週までの累計）

分類	二類	三類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	つつが虫病	レジオネラ症	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	急性脳炎	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症
累積報告数	36	5	1	4	6	1	1	4	1	3
分類	五類	五類	五類							
疾病名	侵襲性肺炎球菌感染症	梅毒	百日咳							
累積報告数	10	8	254							

XI 病原体検出情報 ※（ ）内は、検査材料及び検体採取日報告はありませんでした。

XII 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

2025 年第 18 週

報告週	施設種別	発症者数	管轄保健所
第18週	介護・老人福祉関係施設	11	中南保健所
第18週	障がい関係施設	5	青森市保健所

2025 年報告件数及び発症者数

施設種別		月(週)												計 (施設別)			
		1月 1-5週	2月 6-9週	3月 10-13週	4月 14-17週	5月 18週19週20週21週22週				6月 23-26週	7月 27-31週	8月 32-35週	9月 36-39週		10月 40-44週	11月 45-48週	12月 49-52週
介護・老人福祉関係施設	件数	1	4	4	4	1											14
	発症者数	7	70	69	78	11											235
児童・婦人関係施設等	件数	4	10	8	7	0											29
	発症者数	74	228	136	128	0											566
障がい関係施設	件数	0	2	2	1	1											6
	発症者数	0	37	25	10	5											77
その他施設	件数	0	0	0	0	0											0
	発症者数	0	0	0	0	0											0
計(月別)	件数	5	16	14	12	2										49	
	発症者数	81	335	230	216	16											878

感染症の窓

腸管出血性大腸菌感染症は、ベロ毒素を産生する腸管出血性大腸菌による感染症です。

主な症状は腹痛、水様性下痢及び血便で、嘔吐や高熱を伴うこともあります。さらに、ベロ毒素の作用により溶血性貧血、急性腎不全となり、溶血性尿毒症症候群（HUS）を引き起こすこともあります。

2020～2024 年までの過去 5 年間における月別累積報告数は図のとおりです。一般に腸管出血性大腸菌感染症は初夏から初秋にかけて発生しやすいといわれており、本県のデータでも、5 月から報告数が増え始め、8 月にピークとなる傾向があります。これからの時期は腸管出血性大腸菌をはじめとする食中毒菌が増えるのに適した気温となりますので、十分な注意が必要です。

食中毒予防の三原則は、「付けない、増やさない、やっつける」です。調理や食事の前には、必ず石けん等で手を洗いましょう。また、冷蔵や冷凍の必要な食品は、持ち帰ったらすぐに冷蔵庫や冷凍庫に入れるようにし、調理の際は食材を中心までよく加熱（中心部の温度が 75℃で 1 分以上）しましょう。

○詳しい情報はこちらをご覧ください。☞[腸管出血性大腸菌 Q & A \(厚生労働省 HP\)](#)

腸管出血性大腸菌感染症

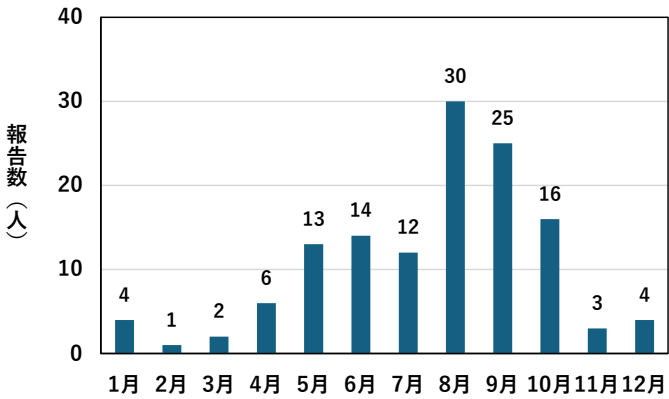


図 月別累積報告数（2020～2024 年）

